

# 平成 26 年度事務事業評価調書

事業コード 01030301	区 分	<input type="checkbox"/> 実行	<input checked="" type="checkbox"/> 経常
事務事業名 広域消防事業	担当部署名	総務課	
	作成責任者職氏名	課長 森田 洋文	内線 221
第4次総合計画体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)
	01安全・安心・環境	03消防・救急体制の充実	03消防・救急の広域化の推進
実施期間	<input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (救急業務S48年度～/消防業務H12年度～)	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助等
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	法令等の名称	千早赤阪村・富田林市消防事務の委託に関する規約 義務付け <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

## I 事務事業の概要<Plan>

<p>(1)事務事業の目的及び内容</p> <p>①目的 村内の消防・救急業務における初動体制を充実させ、被害の軽減を図ることを目的とする。</p> <p>②内容 救急及び消防に関する事務(消防団に係るもの並びに水利施設の設置、維持及び管理に関するものを除く)の管理及び執行を富田林市に委託。地方自治法における事務委託方式。</p>	<p>(2)対象(誰を対象とするのか)</p> <p>村内全域及び村民</p>
<p>(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか)</p> <p>安心安全な生活の確保</p>	<p>(4)事務事業を進める上での課題や問題</p> <p>事務委託費</p>

## II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
	24 年度 実績	25 年度		26 年度 事業費(見込)	27 年度 事業費(見込)			
		事業費(予算)	実績(見込)					
事業費(見込含む)(千円)(A)	116,574	115,457	114,062	110,937	110,937			
財 源 内 訳	国庫支出金							
	府支出金							
	分担金・負担金							
	使用料・手数料							
	起債							
	その他の特財							
一般財源	116,574	115,457	114,062	110,937	110,937			
人 件 費	一般職員所要人員(人)(B)	0.02	0.02	0.02	0.02			
	一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	111	118	118	118			
総コスト費(千円)(A+C)	116,685	115,575	114,180	111,055	111,055			
人口あたりコスト(円)	19,255	19,072	18,842	18,326	18,326			
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	25 年度			26 年度 目標値	27 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標	消防署員	人	13	13	100%	13	13
②	目標指標							
③	目標指標							

○目標指標評価値(達成率平均値) 100% / 1 = 100% (A)

(1/2)

### Ⅲ 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証		
評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	4 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	村民生活の安全・安心が確保できている。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	4 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	常備消防委託のため、初動体制が確保できる。
③効率性 ※効率的に進められているか	4 4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	常備消防委託のため、単独常備消防と比較すると富田林市への委託の方が効率的である。
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	4 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	村域対象であり公平である。

○事務事業評価値 (①～④の合計/16)	16	/16	100%	(B)
-------------------------	----	-----	------	-----

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
100%	100%	100%	a a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)

### Ⅳ 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	
B	← A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等	
村民の安全・安心な生活を確保するため引き続き、実施すべきと考える。ただし、今後、施設・設備整備など委託費について委託先との協議・検討が必要である。	

### Ⅴ 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果	
村民の安全・安心な生活を維持させるため、富田林市に事務委託により引き続き、実施すべきと考える。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(2)第三者による有識者会議結果	
	/ A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(3)行政経営戦略会議結果	
村民の安全・安心な生活を維持させるため、富田林市に事務委託により引き続き、実施すべきと考える。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止